

平成29年9月7日

## 平成29年度〔第20回〕文化庁メディア芸術祭 受賞作品展の開催について

文化庁では、平成9年度より文化庁メディア芸術祭を実施し、優れたメディア芸術作品を顕彰しております。この度、平成29年度〔第20回〕文化庁メディア芸術祭の受賞作品を展示・上映する受賞作品展を開催いたしますので、お知らせいたします。

### 1. 概要

文化庁では、メディア芸術の創造とその発展を図るため、アート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの4部門において優れた作品を顕彰するとともに、受賞作品の鑑賞機会を提供する「文化庁メディア芸術祭」を平成9年度（1997年）より開催しています。

今年度〔第20回〕の受賞作品展では、世界88の国と地域から寄せられた4,034の応募作品より選ばれた各部門の受賞作品（大賞、優秀賞、新人賞）と功労賞受賞者の功績等を紹介し

### 2. 平成29年度〔第20回〕文化庁メディア芸術祭 受賞作品展

会期：平成29年9月16日（土）～9月28日（木）

会場：NTT インターコミュニケーション・センター〔ICC〕，

東京オペラシティ アートギャラリー

（東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー）

11:00～18:00 ※16（土）・17（日）・22（金）・23（土）は20:00まで ※入場は閉館の30分前まで

他サテライト会場 ※サテライト会場の開館時間は会場によって異なります。

入場料：無料 ※全てのプログラムは参加無料です。

主催：文化庁メディア芸術祭実行委員会

<http://festival.j-mediaarts.jp/>

### 3. 報道関係者向け内覧会

※御出席の場合、別途返信状に必要事項を御記入の上、9月12日（火）までにFAXにて御返信ください。

報道関係者向け内覧会

日時：平成29年9月15日（金）13:30～15:00

会場受付：NTT インターコミュニケーション・センター〔ICC〕受付

※内覧は20:00まで開場しております。（入場は30分前まで）

※詳細については、文化庁メディア芸術祭事務局広報担当まで御連絡ください。

＜広報問合せ先＞ TEL：03-3535-3501 FAX：03-3562-4840

＜担当＞ 文化庁文化政策課文化課支援推進室メディア芸術交流係  
支援推進室長 柏田 昭生 （内線 2858）  
支援推進室長補佐 伊野 哲也 （内線 2062）  
メディア芸術交流係長 中臺 正明 （内線 2083）  
電話：03-5253-4111（代表）

## 平成29年度[第20回]文化庁メディア芸術祭 メディア芸術の“時代(いま)”を感じる受賞作品展、いよいよ開催 ー全受賞作品の展示と約130回の関連イベントを実施ー

<http://j-mediaarts.jp>

このたび、文化庁メディア芸術祭実行委員会は「平成29年度[第20回]文化庁メディア芸術祭受賞作品展」を2017年9月16日(土)から9月28日(木)までの13日間、東京・新宿区のNTTインターコミュニケーション・センター [ICC] 及び東京オペラシティ アートギャラリーを中心に開催します。

本展では、アート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの4部門で世界88カ国・地域から寄せられた4,034作品の応募作品から選ばれた全受賞作品と功労賞受賞者の功績等を紹介しします。厳正な審査で選ばれた今年度を代表するメディア芸術作品の数々と、国内外の多彩なクリエイターやアーティストが集う様々な関連イベントを通じて、メディア芸術の“時代(いま)”を映し出します。



第19回文化庁メディア芸術祭 受賞作品展の様子

### ■平成29年度[第20回]文化庁メディア芸術祭受賞作品展 開催概要

- 会 期** 2017年9月16日(土)～28日(木)
- 会 場** NTTインターコミュニケーション・センター [ICC] (東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー4F)  
東京オペラシティ アートギャラリー (東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー3F)  
11:00～18:00 ※16(土)・17(日)・22(金)・23(土)は20:00まで ※入場は閉館の30分前まで  
他サテライト会場 ※サテライト会場の開館時間は会場によって異なります。
- 入場料** 無料 ※全てのプログラムは参加無料です。
- 主 催** 文化庁メディア芸術祭実行委員会

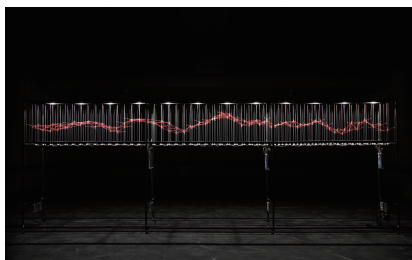


## 1. 展示 会場: NTT インターコミュニケーション・センター [ICC] 東京オペラシティ アートギャラリー

**アート、エンターテインメント、アニメーション、マンガ。多彩な表現に出会う13日間。**  
4部門の受賞作品を一堂に展示します。ダイナミックなインスタレーションやインタラクティブアートにくわえ、ゲーム、ガジェット等の体験型作品も展示。さらに、アニメーションやマンガ作品を貴重な関連資料とともに紹介します。

### 注目の展示作品！

#### アート部門



© 2016 Ralf Baecker  
Photo: Bresadola+Freese, Drama Berlin

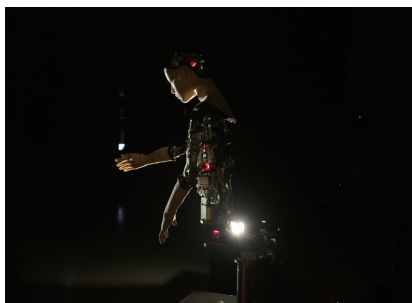
#### 大賞

### 『Interface I』 メディアインスタレーション Ralf BAECKER [ドイツ]

192 個の直流モーターを用いて「構造と行動の関係」を探求するキネティック・インスタレーション。

大賞受賞者・オープニングトーク 日時：9月16日（土）12:30-13:30

会場：NTT インターコミュニケーション・センター [ICC] 4F 特設会場



© 2016 Alter developed by Ishiguro Lab. in Osaka Univ. and Ikegami Lab. In Univ. Tokyo

#### 優秀賞

### 『Alter』 メディアパフォーマンス

### 『Alter』制作チーム（代表：石黒 浩／池上 高志）[日本]

ロボットの持つ「生命らしさ」を、運動の複雑さで表そうとした作品。人間の脳や脊髄の仕組みを模しており、まるで生きているかのように、なめらかな動きを見せます。

トーク 日時：9月16日（土）17:30-19:00

会場：NTT インターコミュニケーション・センター [ICC] 4F 特設会場

#### エンターテインメント部門



© 2016 TOHO CO.,LTD.

#### 大賞

### 『シン・ゴジラ』 映像作品

### 庵野 秀明／樋口 真嗣 [日本]

日本に襲来したゴジラという虚構の巨大生物と、それに立ち向かう官僚や政治家たちを描いた作品。現代の日本の社会状況を忠実に再現し、リアリティを追求した災害シミュレーションを、ドキュメンタリータッチで描いています。

上映 日時：9月23日（土・祝）14:00-16:00 会場：TOHO シネマズ新宿



©2016 Niantic, Inc. ©2016 Pokémon.  
©1995-2016 Nintendo/Creatures Inc. / GAME FREAK inc.

#### 優秀賞

### 『Pokémon GO』 アプリケーション

### 『PokémonGO』制作チーム（代表：野村 達雄）[日本]

位置情報を活用したスマートフォン向けのゲームアプリ。現実の世界そのものを舞台に、スマートフォンの画面の地図上に出現する「ポケモン」を、「モンスターボール」を投げてつかまえます。“Adventures on foot、歩いて冒険する”という理念のもとに制作されました。

ワークショップ 日時：9月23日（土・祝）11:30-13:00

会場：NTT インターコミュニケーション・センター [ICC] 4F 特設会場

## アニメーション部門



© 2016 TOHO CO., LTD. / CoMix Wave Films Inc. / KADOKAWA CORPORATION / East Japan Marketing & Communications, Inc. / AMUSE INC. / voque ting co., ltd. / Lawson HMV Entertainment, Inc.

### 大賞

#### 『君の名は。』 劇場アニメーション

新海 誠 [日本]

展示空間に、作品本編のなかから一部のシーンを大画面で鑑賞できるスペースを設けます。さらに、作品の舞台となっている東京と飛騨の美しい背景画がそれぞれ展示されます。

上映 日時：9月23日（土・祝）19:00-20:50 会場：TOHO シネマズ新宿



© Yoshitoki Oima, KODANSHA/A SILENT VOICE The Movie Production Committee. All Rights Reserved.

### 優秀賞

#### 『映画「聲の形」』 劇場アニメーション

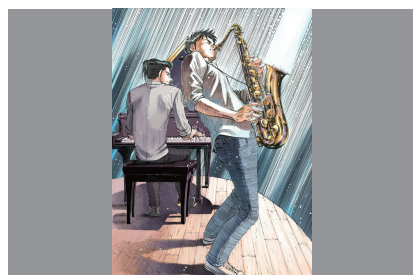
山田 尚子 [日本]

同名のマンガを原作にした劇場用長編アニメーション作品です。人と人とのコミュニケーションにおいて、伝えることの難しさ、そして、それゆえの尊さが表現されています。サテライト会場の TOHO シネマズ 新宿では監督を招いたトークも開催します。

トーク付き上映 日時：9月18日（月・祝）15:50-18:30 会場：TOHO シネマズ新宿

弁士付き上映会 日時：9月23日（土・祝）11:15-13:15 会場：社会福祉法人トット基金 トット文化館

## マンガ部門



© ISHIZUKA Shinichi / SHOGAKUKAN

### 大賞

#### 『BLUE GIANT』

石塚 真一 [日本]

貴重な作品原画の展示とともに、まるでライブハウスにいるような迫力のある巨大壁面プリント、楽器の展示などによって、作品の世界観を感じることができます。

### 新人賞

#### 『月に吠えらんねえ』

清家 雪子 [日本]

萩原朔太郎、北原白秋、室生犀星らの作品から生まれた「朔くん」「白さん」「犀」など、詩人本人ではなく作品のイメージをキャラクター化し、近代詩と日本の近代をいきいきと描いた作品。展示会場では、カラーページの原画や制作プロセスも展示します。

トーク 日時：9月17日（日）11:30-13:00

会場：NTT インターコミュニケーション・センター [ICC] 4F 特設会場

## 2. 上映 会場：TOHOシネマズ 新宿 **事前申込**、サナギ 新宿、ニューマン新宿、

社会福祉法人トット基金 トット文化館 **事前申込**、他 ※

アート部門やエンターテインメント部門の映像作品、劇場アニメーションや短編アニメーション等の特別プログラムをスクリーンで上映します。受賞作家や監督が出演するトークイベントも開催します。

### 3.マンガライブラリー

会場：東京オペラシティ[1階 アトリウム] 開設時間11:00-18:00 ※16(土)・17(日)・22(金)・23(土)は20:00まで

#### 今年度の受賞・審査委員会推薦作品を読んでみよう！

マンガ部門の受賞作品・審査委員会推薦作品の37タイトル全巻を自由に読むことができるマンガライブラリー。オンライン作品も閲覧いただけます。

### 4.関連イベント

#### ライブパフォーマンス／シンポジウム／トーク／ギャラリートーク／ワークショップ／鑑賞プログラム

※ライブパフォーマンス／シンポジウム／トーク／ワークショップは、事前に申込が必要です。申込方法をご確認のうえ、開催日の前日までにお申込下さい。ただし、定員に達し次第、受付は終了とさせていただきます。

※ギャラリートークは、当日の開始1時間前から展示室内のカウンターにて受付けます。各回定員に達し次第、受付終了とさせていただきます。

※申込方法の詳細は公式ウェブサイト(<http://j-mediaarts.jp>)でご確認ください。

※申込受付は9月7日(水)17時から公式ウェブサイトにて開始します。

#### ライブパフォーマンス **事前申込**

#### 海外から来日する受賞作家も多数出演！

##### 注目のイベント！

**9/18(月・祝)** 19:00-22:00

#### 「Sound x Vision x Haptic」

サウンド(聴く)・映像(見る)・触覚(触る)をテーマに、エンターテインメント部門の作家による作品のプレゼンテーションや、功労賞受賞者、特別ゲストが出演するライブパフォーマンスとトークイベントです。

会場：笹塚ボウル(東京都渋谷区笹塚1-57-10 3F)

定員：200名(事前申込制)

出演：

松武 秀樹(功労賞／作曲家／編曲家／シンセサイザー・プログラマー)

尾上 墨雪(日本舞踊尾上流 三代家元・二代菊之丞)

菊川 裕也(エンターテインメント部門審査委員会推薦作品『スマートフットウェア Orphe』)

水口 哲也(エンターテインメント部門審査委員会推薦作品『Rez Infinite』)

Marcel BUECKNER / Tim HEINZE / Richard OECKEL / Lorenz POTTHAST / Moritz RICHARTZ (エンターテインメント部門新人賞『RADIX | ORGANISM / APPARATUS』)

落合 陽一(エンターテインメント部門審査委員会推薦作品『Cross-Field Haptics』)

モデレーター：

東泉 一郎(エンターテインメント部門審査委員／デザイナー／クリエイティブディレクター)



## シンポジウム 事前申込

フェスティバルの未来像等をテーマに、特別ゲストを交えたシンポジウムを開催！

注目のイベント！

9/27(水) 16:00-18:00

### 「フェスティバルのその先へ」

近年、海外のみならず国内においても様々なフェスティバルが全国各地で開催されています。こうした状況を見据えながら、フェスティバルのあり方や未来像について語り合うシンポジウムです。

会場：NTT インターコミュニケーション・センター [ICC] [4階 特設会場]

定員：200名(事前申込制)

出演：

建畠 哲 [文化庁メディア芸術祭運営委員／多摩美術大学長]

Mr. Giovanni Russo [ルッカ・コミック&ゲームズ コーディネーター(イタリア)]

Ms Kyung-hwa LEE [SICAF ソウル国際マンガ・アニメーション映画祭 国際交流コーディネーター(韓国)]

Mr. Avinash Kumar [EYEMYTH Media Arts Festival(インド)]

※日英同時通訳あり

## トーク 事前申込

受賞作家が審査委員や特別ゲストとともに受賞作品について語り合うイベントを開催！制作にまつわる秘話なども聞くことができる貴重な機会です。

注目のイベント！

9/17(日) 11:30-13:00

### 「清家雪子が萩原朔太郎を萩原朔美と語る(前橋文学館連携企画)」

近代詩人による作品のイメージをキャラクター化し、近代詩と日本の近代を描いた作品について、萩原朔太郎の孫でありマルチクリエイターの萩原朔美氏と作者が語るトークイベントです。

会場：NTT インターコミュニケーション・センター [ICC] [4階 特設会場]

定員：200名(事前申込制)

出演：

清家 雪子 [マンガ部門新人賞『月に吠えらんねえ』]

萩原 朔美 [前橋文学館館長]

## ワークショップ 事前申込

### メディア芸術祭をもっと楽しむ・体験する、多彩なワークショップを開催！

受賞作家や審査委員を講師に迎えて、作品作りの基礎を体験することができるワークショップなどを開催します。『映画「聲の形」』の1シーンを手話を用いながら実演するワークショップのほか、自分でシンセサイザーの音をつくるワークショップなどを行います。

#### 注目のイベント！

9/18(月・祝) 13:00-15:00

### 『映画「聲の形」』の1シーンを演じよう

『映画「聲の形」』の1シーンを手話を用いながら実演できるワークショップです。

会場：社会福祉法人トット基金 トット文化館

対象：視覚あるいは聴覚に障がいをお持ちの方および一般

定員：20名(事前申込制)

出演：

井崎 哲也[社会福祉法人トット基金日本ろう者劇団 顧問]

## 鑑賞プログラム

作品の解説を聞きながら展覧会をめぐる恒例のイベントを実施します。  
メディア芸術作品をより深く理解することができるプログラムです。

日時：

9/20(水)・9/21(木)・9/22(金)・9/25(月)各11:30-13:00、14:00-15:30

9/26(火)14:00-15:30／9/27(水)11:30-13:00／9/28(木)14:00-15:30

会場：NTT インターコミュニケーション・センター [ICC]、東京オペラシティ アートギャラリー

定員：各回10名

参加方法：当日の開始1時間前からNTT インターコミュニケーション・センター [ICC]の入口受付にて受付けます。(先着順)

### 広報問合せ先

文化庁メディア芸術祭事務局[CG-ARTS内] 広報担当：水牧

〒104-0061 東京都中央区銀座1-8-16

Email: [jmaf-pr@carts.or.jp](mailto:jmaf-pr@carts.or.jp)

Tel: 03-3535-3501 | Fax: 03-3562-4840 | ※ 受付時間：平日10時～18時

文化庁メディア芸術祭 公式ウェブサイト <http://j-mediaarts.jp>

Facebook <http://www.facebook.com/JapanMediaArtsFestival>


Twitter <http://twitter.com/JMediaArtsFes>



平成29年度[第20回]文化庁メディア芸術祭  
広報用素材貸出申請書

アルファベットを○で囲み、文化庁メディア芸術祭事務局[CG-ARTS内]広報担当 水牧までお送り下さい。

**[A] ロゴ式(zip) ※使用規定(pdf) 同封**



**[B] ポスター・チラシ画像(zip)**




**[C] 広報画像(zip)・・・平成29年度[第20回]文化庁メディア芸術祭受賞作品画像[1] - [4].jpg**  
第19回 文化庁メディア芸術祭受賞作品展の様子[5] - [8].jpg ※使用規定(PDF) 同封

**[1] アート部門大賞**




**[1] 〈クレジット〉**  
© 2016 Ralf Baecker  
Photo: Bresadola+Freese, Drama Berlin  
〈キャプション〉  
第20回文化庁メディア芸術祭  
アート部門大賞  
『Interface I』 Ralf BAECKER

**[2] エンターテインメント部門大賞**




**[2] 〈クレジット〉**  
© 2016 TOHO CO.,LTD.  
〈キャプション〉  
第20回文化庁メディア芸術祭  
エンターテインメント部門大賞  
『シン・ゴジラ』  
庵野 秀明／樋口 真嗣

**[3] アニメーション部門大賞**




**[3] 〈クレジット〉**  
© 2016 TOHO CO., LTD. / CoMix Wave Films Inc.  
/ KADOKAWA CORPORATION / East Japan  
Marketing & Communications, Inc. / AMUSE INC.  
/ vogue ting co.,ltd. / Lawson HMV  
Entertainment, Inc.  
〈キャプション〉  
第20回文化庁メディア芸術祭  
アニメーション部門大賞  
『君の名は。』 新海 誠

**[4] マンガ部門大賞**




**[4] 〈クレジット〉**  
© ISHIZUKA Shinichi  
/ SHOGAKUKAN  
〈キャプション〉  
第20回文化庁メディア芸術祭  
マンガ部門大賞  
『BLUE GIANT』 石塚 真一


**[5]**




**[6]**



**[7]**



**[8]**



〈キャプション／[5] - [8] 共通〉  
第19回 文化庁メディア芸術祭受賞作品展の様子 提供：文化庁メディア芸術祭事務局

<広報画像のご使用にあたって>  
※広報画像のご使用は「第20回文化庁メディア芸術祭」をご紹介いただく場合に限りさせていただきます。フェスティバル終了後は使用できません。  
※広報画像[1] - [8]は全国でご使用ください。部分使用や作品に文字や他のイメージを重ねることはお控えください。  
※指定クレジットを必ずご記載いただきますようお願いいたします。またキャプションを可能な限りご記載いただきますようお願いいたします。  
※校正ゲラを広報担当までお送りください。

貴社についてお知らせください

○貴社名

○ご担当者名

○ご住所 〒

○Tel

○ご掲載・放映の予定日

○媒体名

○所属部署

○Email

○Fax

<個人情報の取り扱いについて>  
御記入いただきました個人情報は、文化庁メディア芸術祭広報からの情報配信やご案内など必要なご連絡にのみ使用いたします。許可なく第三者に個人情報を開示することはいたしません。

報道問合せ先 文化庁メディア芸術祭事務局[CG-ARTS内] 広報担当 水牧  
Email : jmaf-pr@cgarts.or.jp Tel : 03-3535-3501 Fax : 03-3562-4840 ※受付時間：平日10時～18時  
〒104-0061 東京都中央区銀座1-8-16



いよいよ開催！

# 第20回文化庁メディア芸術祭 受賞作品展 報道関係者向け内覧会のご案内

**日時** 9月15日(金)13:30～15:00

**会場** NTTインターコミュニケーション・センター [ICC]、東京オペラシティ アートギャラリー

謹啓 時下益々御健勝のことと御慶び申し上げます。

このたび、文化庁メディア芸術祭実行委員会は、「平成29年度[第20回]文化庁メディア芸術祭受賞作品展」を2017年9月16日(土)から28日(木)まで、新宿・初台の東京オペラシティで開催いたします。

今回の文化庁メディア芸術祭には、アート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの4部門に、世界88か国・地域から4,034作品が寄せられました。受賞作品展では、作品の展示や上映、国内外の多彩なアーティストやクリエイターが集うシンポジウムやワークショップ等の様々なプログラムを通じて、受賞・審査委員会推薦作品、功労賞受賞者の功績等をご紹介します。

つきましては、一般公開に先立ちまして、9月15日(土)13時30分より、報道関係者向け内覧会を開催いたします。ご多忙中とは存じますが、何卒ご出席賜りますようご案内申し上げます。

敬白

記	
<b>日時</b>	
9月15日(金)	
13:15 ～	受付開始(場所:NTTインターコミュニケーションセンター[ICC] 4F 報道関係者向け内覧会受付)
13:30 ～	挨拶、進行説明(場所:NTTインターコミュニケーションセンター[ICC] 4F 特設会場)
13:35 ～	受賞者紹介・撮影
13:45 ～	内覧ツアー:作品紹介・作家コメント(NTTインターコミュニケーションセンター[ICC] 5F ギャラリーA)
14:05 ～	内覧ツアー:作品紹介・作家コメント(NTTインターコミュニケーションセンター[ICC] 4F エントランス)
14:13 ～	内覧ツアー:展示概要紹介(東京オペラシティ アートギャラリー 3F 展示室入口)
14:18 ～	内覧ツアー:作品紹介・作家コメント(東京オペラシティ アートギャラリー 3F 展示室内)
14:40 ～	内覧ツアー:作品紹介・作家コメント(東京オペラシティ アートギャラリー 4F 展示室内)
15:00	内覧ツアー終了(場所:NTTインターコミュニケーションセンター[ICC] 4F 特設会場)
※報道関係者向け内覧会に参加予定の受賞者については別紙リストをご参照ください。	
<b>会場</b>	
NTTインターコミュニケーション・センター [ICC]、東京オペラシティ アートギャラリー	
※ 駐車場はございませんので、お車での来館はご遠慮ください。	
アクセス(共通):	
◎京王新線(都営地下鉄新宿線直通)「初台駅」東口下車 徒歩約2分	◎渋谷駅西口バスターミナルより バス約20分 京王バス(渋61・63・66)「東京オペラシティ南」下車 京王バス(渋64)「東京オペラシティ」下車 都営バス(渋66)「東京オペラシティ南」下車
<b>申込方法</b>	
本リリース最終ページにある出席申込書に必要事項をご記入の上、2017年9月12日(火)までに、メールまたはFAXにてお申込みください。	

報道問合せ先:文化庁メディア芸術祭事務局[CG-ARTS内] 広報担当:水牧

Email:jmaf-pr@cgart.s.or.jp | TEL:03-3535-3501 | Fax:03-3562-4840 | ※ 受付時間:平日10時～18時



FAX:03-3562-4840  
文化庁メディア芸術祭事務局 広報担当  
返信締切:2017年9月12日  
報道関係者向け内覧会 返信状

## 第20回文化庁メディア芸術祭 受賞作品展 報道関係者向け内覧会

**日時** 2017年9月15日(金)13:30～15:00 (受付開始13:15～)  
**会場** NTTインターコミュニケーション・センター [ICC]、東京オペラシティ アートギャラリー

- ☐ **ご出席**
- ☐ **ご欠席／資料・画像の請求**
- ☐ 内覧会配布資料
- ☐ 画像:受賞作品( )
- ☐ 画像:受賞作品展 会場
- ☐ 画像:贈呈式

貴紙・誌名／番組名／サイト名(URL)	
貴社名／ご所属	
ご担当者名	
参加人数	
TEL	FAX
Email	出版・放送・掲載予定日
撮影 <input type="checkbox"/> <b>あり</b> (ムービー・スチール) ※ 撮影機材が多い場合は、下記広報担当まで御一報ください。 <input type="checkbox"/> <b>なし</b>	

### インタビューについて

報道関係者向け内覧会当日の取材(囲み取材)は、出席した大賞受賞者のみとなります。大賞受賞者への個別取材、並びにその他の受賞者、関係者のインタビューなどをご希望の方は、下記へ概要を記載してください。広報担当者より別途御連絡いたします。尚、ご希望にそえない場合もございますので、ご了承ください。

### 取材希望者:

取材希望プログラム: 月 日 時 ～ [プログラム名: ]

取材希望日: 月 日 ～ 月 日 (所用時間 分) ※ 調整の上、受賞作品展前の取材も対応します。

おおよその取材内容:

**当返信状は、9月12日(火)までに、FAXにてご返信ください。**

報道問合せ先:文化庁メディア芸術祭事務局[CG-ARTS内] 広報担当:水牧  
Email:jmaf-pr@cgarts.or.jp | TEL:03-3535-3501 | Fax:03-3562-4840 | ※ 受付時間:平日10時～18時  
〒104-0061 東京都中央区銀座1-8-16

◎ 個人情報の取り扱いについて  
御記入いただきました方の個人情報は情報の提供のために利用いたします。また許可なく業務委託先以外の第三者に個人情報を開示することはありません。

# 第20回文化庁メディア芸術祭 プレス内覧会出席者一覧

No.	部門 Division	賞 Award	作品名／Title 作家名・受賞者名／Artist	プレス内覧会 参加	受賞者 撮影可否
1	アート Art	大賞 Grand Prize	<b>Interface I</b> Ralf BAECKER	○	○
2		優秀賞 Excellence Award	<b>培養都市</b> 吉原 悠博 YOSHIHARA Yukihiro	○	○
3		優秀賞 Excellence Award	<b>Alter</b> 『Alter』制作チーム（代表：石黒 浩／池上 高志）“Alter” Production Team (ISHIGURO Hiroshi / IKEGAMI Takashi, Representatives)	○	○
4		優秀賞 Excellence Award	<b>Jljer</b> Benjamin MAUS / Prokop BARTONIČEK	○	○
5		優秀賞 Excellence Award	<b>The Living Language Project</b> Ori ELISAR	○	○
6		新人賞 New Face Award	<b>あなたは、翌日私に会いにそこに戻ってくるでしょう。You would come back there to see me again the following day.</b> 津田 道子 TSUDA Michiko	○	○
7		新人賞 New Face Award	<b>DCT: SYPHONING. The 1000000th interval.</b> Rosa MENKMAN	○	○
8		新人賞 New Face Award	<b>The Wall</b> Nina KURTELA	○	○
9	エンター テインメント Entertainment	大賞 Grand Prize	<b>シン・ゴジラ SHIN GODZILLA</b> 庵野 秀明／樋口 真嗣 ANNO Hideaki / HIGUCHI Shinji	○ ※代理 ご担当者様	—
10		優秀賞 Excellence Award	<b>デジタルシャーマン・プロジェクト Digital Shaman Project</b> 市原 えつこ ICHIHARA Etsuko	○	○
11		優秀賞 Excellence Award	<b>Pokémon GO</b> 『Pokémon GO』制作チーム（代表：野村 達雄）“Pokémon GO” Production Team (NOMURA Tatsuo, Representative)	○ ※野村達雄様	○
12		優秀賞 Excellence Award	<b>Unlimited Corridor</b> 『Unlimited Corridor』制作チーム（代表：松本 啓吾）“Unlimited Corridor” Project Team (MATSUMOTO Keigo, Representative)	○	○
13		新人賞 New Face Award	<b>岡崎体育「MUSIC VIDEO」</b> 岡崎体育／寿司くん okazakitaiku / Sushi-kun	○	○
14		新人賞 New Face Award	<b>ObOrO</b> Ryo Kishi	○	○
15		新人賞 New Face Award	<b>RADIX   ORGANISM / APPARATUS.</b> Marcel BUECKNER / Tim HEINZE / Richard OECKEL /Lorenz POTTHAST / Moritz RICHARTZ	○	○
16		大賞 Grand Prize	<b>君の名は。your name.</b> 新海 誠 SHINKAI Makoto	○ ※代理 ご担当者様	—
17	アニメーション Animation	優秀賞 Excellence Award	<b>映画『聲の形』A Silent Voice</b> 山田 尚子 YAMADA Naoko	○	△
18		優秀賞 Excellence Award	<b>父を探して Boy and the World</b> Aïe ABREU	○	○
19		優秀賞 Excellence Award	<b>A Love Story</b> Anushka Kishani NAANAYAKKARA	○	○
20		優秀賞 Excellence Award	<b>Among the black waves</b> Anna BUDANOVA	○	○
21		新人賞 New Face Award	<b>I Have Dreamed Of You So Much</b> Emma VAKARELOVA	○	○
22		新人賞 New Face Award	<b>Rebellious</b> Arturo “Vonno” AMBRIZ / Roy AMBRIZ	○	○
25	マンガ Manga	大賞 Grand Prize	<b>BLUE GIANT</b> 石塚 真一 ISHIZUKA Shinichi	○	○
24		新人賞 New Face Award	<b>応天の門 Oten no mon (The Southern Gate)</b> 灰原 薬 HAIBARA Yak	○	×
25	功労賞 Special Achievement		<b>梯 郁太郎(電子楽器開発者)</b> KAKEHASHI Ikutaro (Electronic Musical Instruments Developer)	○ ※代理 梯 郁夫様	△
26			<b>高野 行央(昭和漫画館青虫館長)</b> TAKANO Yukio (Director of Showa Manga Library AOMUSHI)	○	△

※その他の受賞者様については出欠の確認中です。